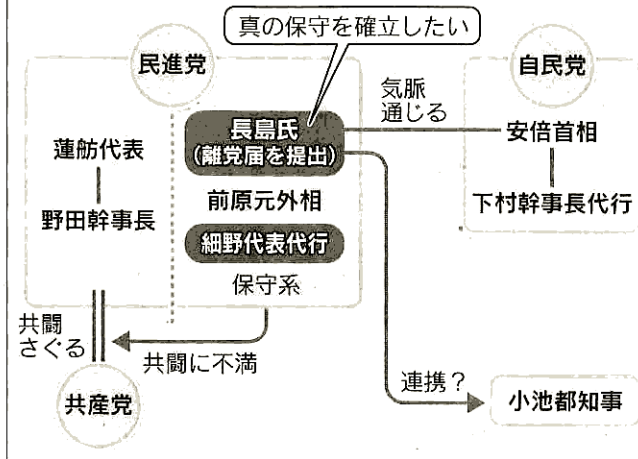


民進保守派 募る不満

長島氏が離党届 小池新党と連携も

蓮舫体制、足元揺らぐ

民進党内の保守系には共産党との連携に不満がある



「居場所がなくなってしまった」。10日、長島氏は国会内で会った野田佳彦幹事長にこう伝えた。長島氏は安全保障政

民進党内で保守派の不満が顕在化してきた。東京都連の幹事長を務めてきた長島昭久元防衛副大臣が10日、離党届を提出。次期衆院選に向けて共産党との連携を進める執行部への不満を理由に挙げた。10日には細野豪志代表代行が憲法改正私案を月刊誌で発表。保守派の不満の広がりを映す。蓮舫執行部が進める野党共闘路線などへの影響は避けられず、蓮舫代表の足元は揺らいでいる。



野田幹事長に離党届を提出した民進党の長島氏(10日)

の方針は受け入れがたい」と強調した。

党は除名処分へ

野田氏はこの後の記者会見で「なぜこの時期なのか、ふに落ちない」と不快感を示した。

2016年3月の民進党結党後、国会議員の離党表明は初めて。長島氏は衆院東京21区で落選し、比例代表で復活当選した。蓮舫代表ら執行部は11日、常任幹事会で長

る可能性を追求していきたい」と含みを持たせた。東京は蓮舫代表のお膝元だけに都議選への影響を懸念する声もある。長島氏が務めてきた都連幹事長は当面、空席になる見通し。松原仁都連会長は10日、国会内で記者団に「緊急に体制の立て直しを図らなければならぬ」と語った。

ただ、長島氏に追隨する動きが広がるかは見通せない。長島氏は自身が率いるグループの約5人のメンバーについて「呼応することはない」と明言。一方、党内には「離党予備軍が10人ほどいる」との見方もあり、執行部は神経をとがらせている。

自民党は長島氏に秋波を送る。下村博文幹事長代行は記者団に「自民党と同じ会派で活動をしてもらえればありがたい」と語った。

細野氏は改憲案首相官邸には長島氏との連携に期待する意見がある一方、離党に戸惑う声もある。民進党内にとどまっていれば、憲法改正論議が本格化した際に、長島氏が民進党内の調整に力を発揮できたか

もしないからだ。民進党の足並みの乱れは別のかたちでも表面化した。10日発売の中央公論に掲載した細野氏の改憲案は①幼児児から高校までの教育無償化②大災害時における国会議員の任期延長③地方自治の明確化」を柱とする。

教育無償化をめぐり、蓮舫氏は予算をつければ対応可能として、憲法改正は不要との考え。執行部の一員でもある代表代行の細野氏との立場の違いが浮き彫りになった。

保守派とリベラル派が混在する民進党は、野党共闘や改憲への対応などが火種としてくすぶる。保守派のやるせない気持ちが高まれば、低迷が予想される都議選後の代表交代論を盛り上げる可能性もある。

民進党は10日、長島昭久元防衛副大臣の会派離脱を衆院事務局に届け出た。衆院の新たな勢力分野は次の通り。

- 1 自民党・無所属の会2
- 93▽民進党・無所属クラブ95▽公明党35▽共産党21▽日本維新の会15▽自由党2▽社民党・市民連合2▽無所属11▽欠員